

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25220101	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	多波長ライダーと化学輸送モデルを統合したエアロゾル 5 次元同化に関する先導的研究	研究代表者 (所属・職) (平成 28 年 3 月現在)	鶴野 伊津志 (九州大学・応用力学研究所・教授)

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、アジア域での高度なライダー観測と化学輸送モデルとを組み合わせ、空間・時間・化学組成の 5 次元データ同化システムを開発することによって、大気汚染物質の発生源からの流れを把握するという研究であり、幾つかの重要な進展があり研究は概ね順調である。</p> <p>例えば、ライダー観測結果によるアジア域の汚染イベントの特徴の理解、観測結果のモデルへの反映、中国の省のスケールの排出寄与分析など、有用な成果を得ている。今後、手法の開発と再解析データベースの作成・公開に加え、エアロゾルの気候影響評価の高精度化という研究目的に向けて、数値目標を挙げた取組も望まれる。</p>	